

不撓不屈の魂を音楽にのせて、熊本の合唱団300人と共演!

ウクライナ国立 フィルハーモニー 交響楽団

熊本公演
2023



Program

A.L.ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」
L.v.ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」

指揮：ミコラ・ジャジューラ

管弦楽：ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

ソプラノ：テチアナ・ガニーナ / アルト：アンジェリーナ・シュヴァツカ

テノール：ドミトロ・クズミン / バリトン：セルギイ・マゲラ

ウクライナ熊本第九2023合唱団 / NHK 熊本児童合唱団（ウクライナ国歌斉唱）

9/7(木)より
一般発売
開始

2023 **12/26** (火) 18:15開場
19:00開演

市民会館シアーズホーム夢ホール (熊本市市民会館)

チケット料金
全席指定・税込

S席8,500円・A席6,500円・学生席3,500円
※学生席は大学生以下で25歳未満が対象。A席エリアで100枚限定。
チケットぴあ、ローソンチケットにて販売。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

[プレイガイド]
チケットぴあ (Pコード：252-336)
ローソンチケット (Lコード：82760)
市民会館シアーズホーム夢ホール
熊日プレイガイド 大谷楽器

[チケットのお問合せ]
コモド・アート・プロジェクト
096-288-4635 (平日 10:00-18:00)
info@comodo-arts.com

[主催] ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団熊本公演2023実行委員会 / 事務局 ukrphil.kmt@gmail.com

[共催] 熊本県国際協会、市民会館シアーズホーム夢ホール、JICA九州 [助成] 公益信託熊日文化スポーツ基金

[後援] 熊本県、熊本市、玉東町、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本日日新聞社、NHK 熊本放送局
RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791

[特別協賛]



— 武器はいらない。なぜなら私たちには楽器があるから。私たちの武器は音楽 —

と強い決意を込めて語る音楽監督のミコラ・ジャジューラ。2005年の初来日以来、毎回絶賛を博し「スラブ最高のオーケストラ」と評価を確立したのがウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団です。平時の2019年ツアーでも、武蔵野市民文化会館で最速完売記録を樹立したほか、各地でソールドアウトが続出している人気の交響楽団。熊本公演2023では、300名規模の熊本の有志と共に、平和の賛歌を歌い上げます。熊本も幾多の困難に遭遇しながら、不屈の心で故郷を再生してきました。今この時、決して屈さぬウクライナと熊本の魂を「歓喜の歌」に乗せて届けます。



指揮：ミコラ・ジャジューラ

1961年キーウ生まれ。1980年からキーウのチャイコフスキー音楽院に学び、指揮法をロマン・コフマンに師事、在学中の86年から88年までロシアのオムスク・フィルハーモニー交響楽団の音楽監督を務める。1987年東京国際、88年ブダペスト国際各指揮コンクール受賞、小澤征爾からタングルウッドのサマーアカデミーに招かれ、バーンスタイン、プレヴィン等の指導を受ける。1988年シェフチェンコ記念キエフ国立歌劇場正指揮者、89年ソウル交響楽団首席指揮者を歴任、96年ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任。旧ソ連邦諸国を始め、ヨーロッパ、アメリカ、アジア等で幅広く演奏活動を行い、篤実な人格で多くの尊敬を集めている。



ソプラノ：
テチアナ・ガニーナ



アルト：
アンジェリーナ・
シュヴェツカ



テナー：
ドミトロ・クズミン



バリトン：
セルギイ・マゲラ

©三浦真一

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

1995年ウクライナのキーウに本拠を置く国立フィルハーモニー協会の専属オーケストラとして創設される。同国の巨匠ロマン・コフマンの指導下、1996年には若手の第一人者ミコラ・ジャジューラが音楽監督に就任、フィルハーモニーのライセンコ・ホールで年間50回以上の定期公演を行うほか、旧ソ連を含むヨーロッパ全土から客演に招かれている。特にドイツとフランスでは近年人気が高く、ベルリン、ミュンヘン、ケルンの各フィルハーモニー、バイロイトの大劇場等でチャイコフスキー、ラフマニノフ等を演奏するほか、数日間に渡ったロワールの音楽祭コンサートは、ハイビジョンでフランス全土に放映され大きな反響を呼んだ。ペンデレツキ、テオドラキス等の作曲家、クレーメル、パシュメット、クライネフ、ヴィルサラージェ、パドゥラ・スコダ、アッカルド等著名演奏家との共演も数多く、東欧における最も優れたオーケストラとして評価を確立している。

*出演者は変更になる可能性があります

合唱：県内外50団体以上の有志約300名／合唱指導：岩本貴文、小野郁子、春日保人、春日信子／合唱ピアニスト：永野麗子

[ごあいさつ]

熊本の皆さまに東ヨーロッパ最高峰であるウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団の音楽をお届けできることを、大変嬉しく思います。現在、私は熊本県立劇場の館長を務めておりますが、現職に就いたのはちょうど熊本地震が発生した2016年でした。劇場を取り巻く環境は激変し、その後も新型コロナウイルスの感染拡大を受け、芸術文化活動の場は大きな制約を課されました。しかし、芸術や文化は私たちの心に欠かせないものです。この熊本の地でしっかりと芸術・文化、芸能の出番を作っていきたいという思いで、現在に至っています。今、ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団を熊本に招致することは、様々な意味において意義があると感じています。本公演では、ドヴォルザークの交響曲第9番ホ短調 Op.95『新世界より』と、ベートーヴェンの交響曲第9番ニ短調 Op.125『合唱付き』が演奏されます。『合唱付き』では、本公演のために約300名の熊本の有志の合唱団が結成されました。ウクライナの音楽家や熊本の皆さまにとって、明日への希望と力が湧き出るような「第九」になると信じています。この混乱した時代にあっても、芸術・文化の灯は守り続けたいと切に願っています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 熊本公演2023実行委員会 実行委員長 姜 尚中

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 熊本公演2023実行委員会 (五十音順)

実行委員長：姜 尚中／実行委員会世話人：小野友道、河村邦比兒、吉丸良治

実行委員会：鮎川久雄、荒木正博、出田敬三、出田節子、出田秀尚、井上智重、猪本耀子、入部祥子、笠場よしえ、大江捷也、小川久雄、小川芳宏、笠原慶久、春日幸雄、川口みさき、河津延雄、神田一伸、樹原涼子、木之内均、久我彰登、小堀俊夫、境 正子、坂口洋一朗、佐久間伸一、世良喜久子、副島 隆、竹内圭介、竹屋元裕、堤 裕昭、野村俊巳、八戸和男、原幸代子、伴 征子、平江純一、平野有益、福田 稠、藤間富士斎、古川寛子、松下純一郎、松本充右、光永尚生、宮尾 尚、宗田英成、村上輝和、目黒純一、山懸ゆり子、山崎崇伸、山田千明、笠日出臣

事務局長：春日信子／事務局：尾上香織、小野田美緒、木村久美子、朽木恵子、田中浩子、永野麗子、畠山志津子